

経営課題3 誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実

めざすべき将来像〈概ね10～20年間で念頭に設定〉

- 【福祉】 災害発生時はもとより日常生活においても、高齢者・障がい者等が地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けられることができる状態
- 【健康】 区民が、自らの健康の維持に留意し、具体の取組を行っている状態

【戦略3-1】地域に密着して福祉課題の解決をめざす

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

- 災害時等に支援の必要な高齢者や障がい者等について、地域での見守り体制が構築され、適切に機能している状態

めざすべき将来像： 災害発生時はもとより日常生活においても、高齢者・障がい者等が地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができる状態

【戦略3-1】 地域に密着して福祉課題の解決をめざす

主な業績目標

P 地域における見守り体制が構築されていると感じる区民の割合：60%以上（撤退基準：50%未満）

主な取組内容

- 「このはな地域見守りタイ」
定期的な訪問、安否確認を通じて、対象世帯の把握に努め、対象を増やしていく
(平成26年11月末現在：552人)
- 要援護者名簿の同意確認・名簿整備(CM事業)
- 孤立世帯等への専門的対応、徘徊者保護の強化(CM事業)

実績

- D**
- 対象者：633人
登録ボランティア数：290人
活動回数：9,250回
平成27年12月末現在
 - 名簿作成、民生委員へ提供
 - 相談：延684件
登録：115件
(徘徊協力者) 2

見守り活動(訪問や関係機関との連携)



研修会の開催



めざすべき将来像： 災害発生時はもとより日常生活においても、高齢者・障がい者等が地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができる状態

【戦略3-1】 地域に密着して福祉課題の解決をめざす

評価

C

地域における見守り体制が構築されていると感じる区民の割合

目標

60%
以上

結果

59.2
%

- 業績目標の達成には至っていないため、見守りボランティアを増やすなど**取り組みを活性化させる工夫が必要**である。

28年度に反映した取組

A

- 地域事業や安全安心情報などのチラシを作製し、見守り訪問時に持参するなど見守りボランティアが活動しやすくなる工夫をしていく。
- 区民に活動の内容を理解してもらえるよう広報紙などで周知を行う。

経営課題3 誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実

めざすべき将来像：区民が、自らの健康の維持に留意し、具体的取組を行っている状態

【戦略3-2】健康でいきいきと暮らせる環境づくり

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

- 区民が自らの健康の維持の必要性を感じている状態

めざすべき将来像：区民が、自らの健康の維持に留意し、具体の取組を行っている状態

【戦略3-2】健康でいきいきと暮らせる環境づくり

主な業績目標

P

健康づくりなどの取組により、健康づくりに対する意識が高まったと感じる区民の割合：60%以上（撤退基準：50%未満）

主な取組内容

- 健康体操の実施：10地域
- 健康の取組への参加者増を図るポイント事業の継続実施
- ターゲットを絞った受診勧奨によるがん検診の受診率向上の取組：1回
- 区民の健康づくりに関する意識調査の実施

実績

D

- 10地域
- 継続実施
- 1回
（約5,000人）
- 調査を実施



高血圧ウォーキング講座



めざすべき将来像：区民が、自らの健康の維持に留意し、具体の取組を行っている状態

【戦略3-2】健康でいきいきと暮らせる環境づくり

評価

C

健康づくりなどの取組により、健康づくりに対する意識が高まったと感じる区民の割合

目標

60%
以上

結果

58.4
%

- 業績目標の達成には至っていない。各種事業の参加者が固定化しており、より多くの方に参加していただける仕組みづくりが必要。

28年度に反映した取組

A

- 健康体操など健康づくりを促進する取り組みを継続して実施するにあたり、幅広い層の参加を得るため、医療関係団体や健康づくり関係団体と意見交換を行っていく。